

# 平成28年度あきたエコマネジメントシステム の取組結果について

生活環境部環境管理課

## 1 はじめに

「あきたエコマネジメントシステム」では、県自らが行う事務・事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、「秋田県庁環境方針」に掲げる4つの柱である「総合的な環境保全施策の推進」「事業活動における積極的な環境配慮の実施」「秋田県庁環境保全率先実行計画の推進」「環境関連法規等の順守」に基づき取組を進めている。

### 秋田県庁環境方針

秋田県庁は、自らが行う事務事業活動が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、次の方針に基づき積極的に行動します。

#### (1) 総合的な環境保全施策の推進

「自然と人との共存可能な社会の構築」、「環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の形成」、「地球環境保全への積極的な取組み」、「環境保全に向けての全ての主体の参加」を基本としながら、第2次秋田県環境基本計画に掲げる環境保全施策を推進します。

#### (2) 事業活動における積極的な環境配慮の実施

公共事業の実施において、公共事業環境配慮システムを基に、環境に配慮した事業を実施し、環境負荷の低減に努めます。

#### (3) 秋田県庁環境保全率先実行計画の推進

オフィス活動において、秋田県庁環境保全率先実行計画を基に、省エネルギー・省資源やグリーン購入を推進し、温室効果ガス排出量の削減など、環境負荷の低減に努めます。

#### (4) 環境関連法規等の順守

環境に関する法令、条例、協定、その他の合意事項を順守し、環境汚染の防止に努めます。

## 2 適用組織（平成28年度）

部局等	適用組織数
知事部局	145
行政委員会	7
教育庁	24
県立学校	55
警察本部・警察署	46
合計	277

### 3 主な取組内容及び結果

#### (1) 総合的な環境保全施策の推進

環境保全施策を推進するため、56 の事業において環境目的・目標を設定しており、47 の事業で目標を達成している。(目標達成率：84%)

環境目的の分類	事業数	目標達成数	目標未達成数
① 自然と人との共存可能な社会の構築	2	2	0
② 環境への負荷の少ない循環を基調とした社会の形成	39	34	5
③ 地球環境保全への積極的な取組み	8	7	1
④ 環境保全に向けての全ての主体の参加	7	4	3
合計	56	47	9

※分類が複数ある場合は、主たる分類のものに計上した。

#### (2) 事業活動における積極的な環境配慮の実施(秋田県公共事業環境配慮システムの運用)

評価対象 189 件の対象工事で 1,290 項目の環境配慮をすることとして計画し、1,275 項目で実際に配慮され、その配慮率は 99%であった。

○対象：県が実施する道路の整備事業など17事業種（21種類）のハード事業  
(計画・設計段階 500万円以上、施工段階 8千万円以上の事業)

- ・評価対象事業数 189 件（前年 180 件）
- ・平均選択事項数 6.8 事項（前年 5.9 事項）
- ・平成 28 年実施配慮率 99%（前年 97%、目標配慮率：90%）
- ・秋田県公共事業環境配慮システム連絡調整会議の開催

#### (3) 秋田県庁環境保全率先実行計画の推進

##### ①CO<sub>2</sub>排出量の削減

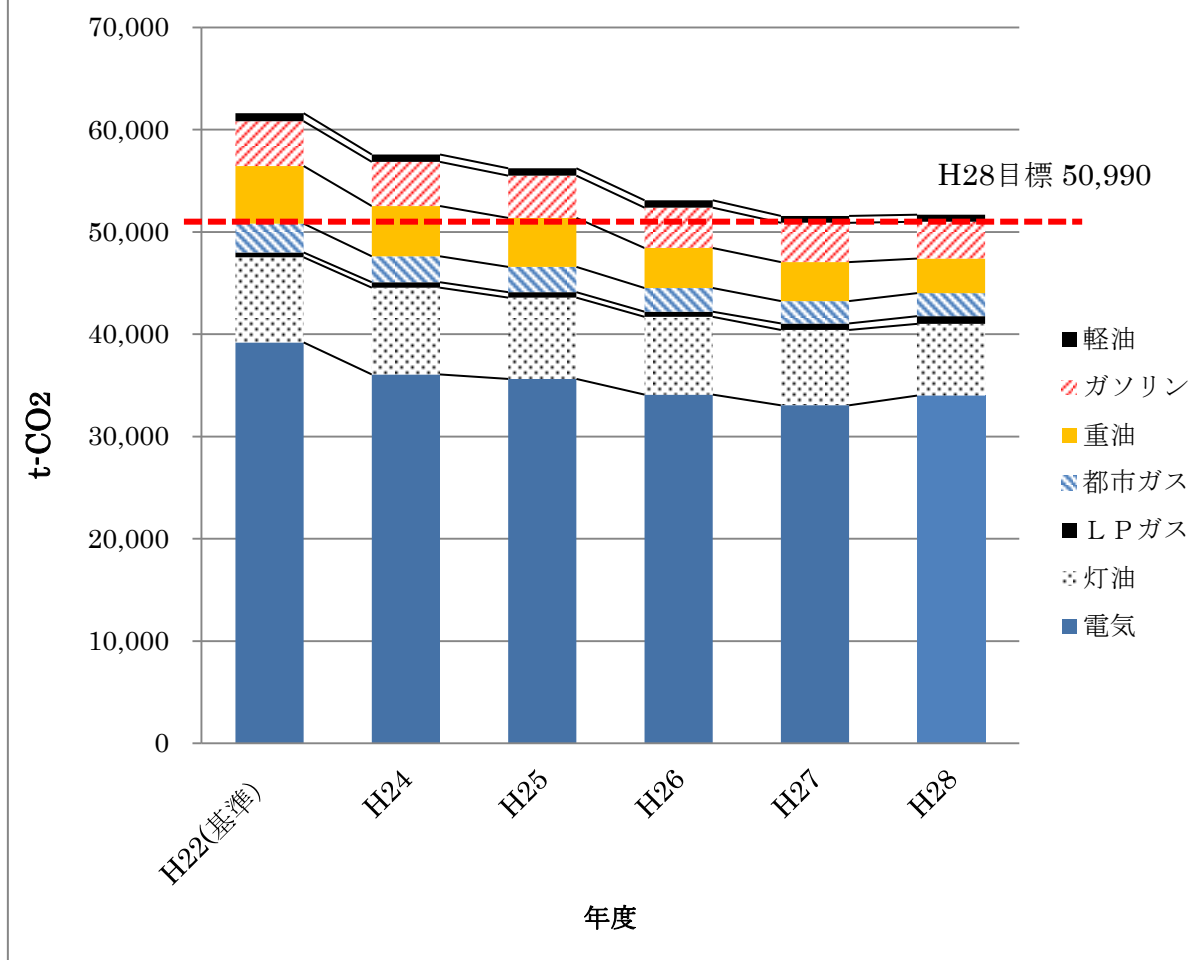
○平成 28 年度までに、県の事務・事業の実施に伴う CO<sub>2</sub> 排出量を平成 22 年度比 5.5% 削減することとしており、平成 26 年度時点で既に目標をクリアしている。

○平成 28 年度の CO<sub>2</sub> 排出量は、前年度比 0.2%の増加、平成 22 年度比では 16.1% の削減となった。

項目	H27年度 実績	H28年度			CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )換算			
		実績	増減率	削減 目標	H27年度	H28年度	増減率	
電気(kwh)	70,602,502	72,669,417	2.9%	△1.5%	33,042	34,009	2.9%	
燃料	灯油(ℓ)	2,961,037	2,806,773	△5.2%	△0.5%	14,004	13,384	△4.4%
	LPガス(kg)	211,737	254,301	20.2%				
	都市ガス(m <sup>3</sup> )	979,246	1,005,949	2.7%				
	重油(ℓ)	1,406,412	1,250,161	△11.1%				
公用車 等燃料	ガソリン(ℓ)	1,654,287	1,550,579	△6.3%	△0.1%	4,514	4,279	△5.2%
	軽油(ℓ)	260,520	262,690	0.9%				
CO <sub>2</sub> 排出量(計)					51,560	51,672	0.2%※	

※平成22年度比は△16.1%

## 県庁全体のCO2排出量年度別推移



(単位：t-CO<sub>2</sub>)

	H22(基準)	H24	H25	H26	H27	H28	H28(目標)
電気	39,187	36,056	35,612	34,093	33,042	34,009	32,546
灯油	8,328	8,474	7,968	7,593	7,370	6,986	7,333
LPガス	463	534	532	520	635	763	632
都市ガス	2,830	2,550	2,463	2,293	2,188	2,247	2,177
重油	5,622	4,918	4,790	3,929	3,811	3,388	3,792
ガソリン	4,399	4,302	4,143	3,955	3,841	3,600	3,837
軽油	773	738	709	713	673	679	672
合計	61,602	57,572	56,217	53,096	51,560	51,672	50,990

## ②グリーン購入に係る取組み

○対象 16 項目中、調達目標 90%以上を達成した項目は 7 項目であった。一方、目標に達しない項目数は、仕様・規格に合致した環境物品等が無い、予算の制約により低価格な非適合品を選択した、発注者の認識不足などの理由から、前年度から 1 項目増えた 7 項目であった。

項 目	28年度		評価		項 目	28年度		評価	
	調達目標	調達率	H28	H27		調達目標	調達率	H28	H27
紙類	情報用紙	99.4%	○	○	温水器等		—	—	○
	衛生用紙	99.9%	○	○	照明	90%	83.5%	×	○
文具類	90% 以上	96.8%	○	○	自動車等	90%	93.0%	○	×
オフィス家具等		91.7%	○	○	制服・作業服	90%	78.2%	×	×
OA機器		96.2%	○	○	インテリア・寝装寝具	90%	91.9%	○	○
移動電話		—	—	×	作業手袋	90%	70.2%	×	×
家電製品		78.0%	×	×	その他繊維製品	90%	24.6%	×	×
エアコン・イヤホン等		50.0%	×	○	納入印刷物	90%	80.0%	×	○

※「温水器等」は、購入実績なし。

※「移動電話」は、購入実績があるものの、グリーン購入適合品の機種が販売されていないことから除外。

## ③その他の取組み

○水道水使用量

- ・水道水使用量については、前年度比で 4.7%の削減となった。
- ・平成 28 年度までの削減量を平成 22 年度比 2.5%削減との目標に対して、27.0%の削減となった。（平成 22 年度 553,326 m<sup>3</sup>）

項 目	H27年度実績	H28年度		
		削減目標	実績	削減率
水道(m <sup>3</sup> )	423,568	△0.5%	403,694	△4.7%

○可燃ごみ排出量及びコピー用紙購入量

- ・可燃ごみ排出量及びコピー用紙購入量については、平成 22 年度を基準値とした削減目標と実績削減率との乖離が大きかったことから、平成 27 年度からの目標設定を県庁全体での一律の目標ではなく、各部局等（知事部局及び行政委員会等、県立学校及び警察本部）それぞれが現況を踏まえ、自ら目標設定を行い重点的に取り組むこととした。各部局等の目標値及び実績は次のとおり。

- ・可燃ごみ排出量は、各部局の実態にあった単年度の目標を設定し取り組んだことから、単年度目標を達成した。平成 28 年度までの可燃ごみ削減量を平成 22 年度比 10.0%の削減を目標としており、平成 28 年度実績で 10.7%の削減となった。  
(平成 22 年度 1,225,843 kg)

1) 可燃ごみ排出量(kg)

適用組織	基準年度	基準年度実績	H28年度		
			各部局等削減目標	実績	削減率
知事部局及び行政委員会等	H22	350,952	△10.0%	277,712	△20.8%
県立学校	H27	669,798	△4.7%	609,380	△9.0%
警察本部	H27	206,478	1.5%以内	207,194	0.3%
合計				1,094,286	

2) コピー用紙購入量(枚)

適用組織	基準年度	基準年度実績	H28年度		
			各部局等削減目標	実績	削減率
知事部局及び行政委員会等	H22	64,621,106	△2.5%	49,111,155	△24.0%
県立学校	H27	60,732,025	△2.4%	64,195,125	5.7%
警察本部	H27	23,369,500	3.5%以内	22,578,500	△3.4%
合計				135,884,780	

④金額ベースでの削減実績

- 電気、燃料、水道の各使用量及びコピー用紙購入量に、それぞれの経費単価を乗じて購入経費を求め、金額ベースでの削減実績を計算した。

H22 年度経費	H28 年度経費	削減実績 (H22 年度比)
2,708,041 千円	2,318,832 千円	△389,209 千円

※経費単価は平成 22 年度の単価を使用。

(4) 環境関連法規等の順守

内部監査の結果、69 課所・496 項目中、2 課所・2 件の不適合があり、是正を通知し、改善対処の報告を受理した。

【不適合の内容】

- ・毎年一回の浄化槽の清掃の未実施 (浄化槽法)
- ・ボイラー設備 2 台のうち、1 台のばい煙濃度測定の未実施 (大気汚染防止法)

適用法規名	項目数	不適合項目数	適用法規名	項目数	不適合項目数
廃棄物処理法	50	0	電気事業法	55	0
消防法	89	0	浄化槽法	58	1
毒物及び劇物取締法	20	0	ダイオキシン類対策特別措置法	3	0
農薬取締法	7	0	水道法	4	0
PCB 特別措置法	13	0	公害防止条例	7	0
大気汚染防止法	55	1	フロン排出抑制法	111	0
水質汚濁防止法	13	0	その他関連法規等	11	0
合 計				496	2

## 前年度の外部評価委員会からのご意見対応状況

## 1 「秋田県庁環境保全率先実行計画の推進」関係

ご意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達については、グリーン購入適合品の購入事例の情報共有などを図りながら改善を進めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品調達システムに、グリーン調達推進項目、重点事項（作業服・印刷物）を掲載した。</li> <li>・グリーン購入法適合品の作業服一覧及び作業服カタログページ集を作成し、情報活用支援システムのキャビネットや掲示板へ掲載し周知した。</li> <li>・出納局発行のニュースレターに、作業服一覧の活用について掲載した。</li> <li>・グリーン調達推進項目 16 項目の上半期部局別実績、重点事項（作業服・印刷物）の上半期所属別実績等を通知し、年度末に向けたグリーン購入の徹底を各部局に求めた。</li> <li>・「秋田県グリーン調達方針」を策定するとともに、「グリーン購入の手引き」を作成し、情報活用支援システムの掲示板等や環境調整会議幹事会担当者会議で周知を図った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙購入量の削減目標未達成については、組織ごとの傾向を把握するなどにより改善すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙購入量の削減目標については、部署ごとに各種計画等の作成年度が個々にあることから、コピー用紙購入量に変動がある。平成 29 年 3 月に策定した「秋田県庁環境保全率先実行計画（第四期）」において、削減目標を第三期計画期間（H24～H28 年度）の平均購入量の 1 % の削減を目標とし、部署の傾向に合わせた削減取組とする。</li> </ul>

## 3 「環境関連法規等の順守」関係

ご意見	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前と同様の不適合項目がみられるため、各課所に定期的なチェックを促すなどにより、環境関連法規等の順守を強化すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適合項目があった課所については、是正処置を指示した他、不適合項目がなかった課所についても不適合項目の事例として周知を図り、法規等の順守の強化を図った。</li> </ul>

## 平成29年度外部評価委員会の評価結果について

生活環境部環境管理課

「あきたエコマネジメントシステム」においては、毎年度のシステムの運用状況について、客観性・透明性を確保するため、有識者に「外部評価委員」を委嘱し、「外部評価」を実施している。

### 1 外部評価委員委嘱者

氏名	現職
菅原拓男	秋田大学名誉教授
工藤兼勝	TDKテクノ(株)国際規格部(ISO14001審査員補)
津村守	津村コンサルタンツ事務所代表(エコアクション21審査人)

2 外部評価委員会開催日 平成29年7月14日(金)

### 3 評価結果

#### (1) 総合評価

○ 平成28年度のあきたエコマネジメントシステムについては、概ね良く取り組んでいる。今後もいっそう環境保全に配慮して取り組んでいくこと。

#### (2) 主な意見

##### 【環境保全施策の推進について】

○ 目標未達成の事業については、原因分析などにより目標達成に向けて取り組んで貰いたい。

##### 【環境保全率先実行計画について】

○ グリーン調達については、発注者や決裁者がグリーン購入について留意して、目標達成を図ること。

○ 電気使用量やコピー用紙使用量などについて、削減可能なもの、削減できないものなど区分して目標設定するなど検討して貰いたい。

##### 【環境関連法規等の順守について】

○ 担当者及び責任者による環境関連法規順守のダブルチェックを強化して、不適合項目の削減を図ること。